日刊木材新聞
発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
https://jfpj.jp/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2022
本紙の無断複製（コピー・PDF）配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

時代を拓く 木の力
木材建材ウイクリー
Japan Lumber Reports
電子版

3社連携で高性能住宅建設支援

金融含めたサービスを構築

ウイング、野原住環境、KSSK

ウイング（東京都、倉田俊行社長）、野原住環境（同、大西譲二社長）、建設業総合支援機構（KSSK、横浜市、本橋秀之会長理事）は、3社連携により2×4高性能パッケージ住宅を展開する。まずは断熱等性能等級5、1次エネルギー消費量等級6を標準仕様にした規格住宅を、エスクローを活用した取引手法で提供していく。金融まで踏み込んだ高性能住宅建設支援の仕組みを構築することで、高性能住宅の普及に貢献するだけでなく、工務店や木材・建材流通が抱える課題解決につなげたい狙いもある。

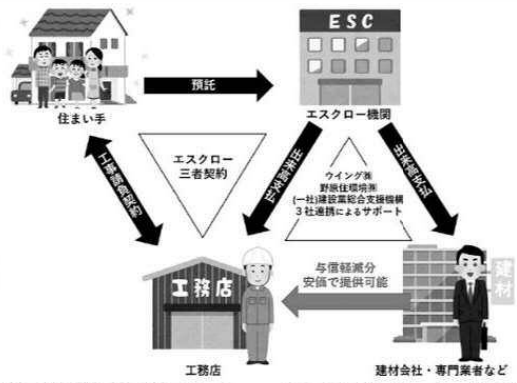
3社連携による2×4高性能パッケージ住宅は、高性能住宅対応の断熱・設備仕様提案に強みを持つ野原住環境と、2×4工法合理化構造「Union Frame（ユニオン・フレーム）」を展開するウイングの住宅躯体への知見を取り入れた経済合理性の高さが最大の特徴。加えて、3社連携によるスケールメリットも期待でき、より高い競争力を発揮できる見通しだ。

住宅建設後の将来的な設備交換を見据え、躯体や断熱性能などの住宅性能そのものに主眼を置き、設備仕様は第3種換気やエコジョーズなど一般的な仕様ともしている。

こうした仕様に、KSSKの建設業界への支援ノウハウを取り込み、取引手法にはエクスローを採用する。

エクスローは、いわゆる第三者預託で、契約当事者の間に入り、商品などの授受や代金決済等の安全性を確保するサービス。

取引手法にエクスローを採用することで、コロナ禍やウッドショックなどで工務店の資金繰りへの懸念が高まる半面、木材・建材流通などでは与信不安から資材供給がしづらく、売上高の減少につながっているという難題を解消した。施主に対しても、竣工・引き渡しまでの完成保証となる。



3社連携のエクスローのスキーム

3社では、今回の連携によりこれまでとは異なる新しいサプライチェーンの構築に取り組むことで、大手に比べ資本力に乏しい中小工務店の支援強化につなげていきたい考えだ。加えて、これを一つの手段に、経済を住宅産業から変えていきたいと意気込む。

この2×4高性能パッケージ住宅は今年度の国交省グリーン化事業で運用を始め、等級6、7などのより高性能な住宅仕様には3社連携で個別相談に応じていく。

天然木床・壁・天井
多品種・小ロット・短納期
特注対応します
抗ウイルス塗装
SIAA認証 ISO 21702
ボード株式会社
https://www.board.co.jp

主な記事
▽2面 22年度第1回東北森管局供給調整検討委
杉立木・原木の価格維持が重要
▽3面 国産合板商況 引き合いに一服感
▽4面 業界ダイアリー
▽5面 木材・建材の価格推移
▽6面 木材利用の最新技術講座
▽7面 エイブル 3年ぶりに有観客のセミナー

FSC FSC® C121389
SGEC SGEC/31-31-1007 「緑の環境」
集成材 お問い合せ下さい
TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

米松国内挽き製材

価格競争力に黄色信号

欧州材の先物コスト下落で

欧州産製材、構造用集成材の先物産地価格の下落により、米松国内挽き製材の価格競争力に黄色信号がともっている。米松丸太は産地価格が高止まりし、当面大きく下落する気配がない。為替は1ドル136円と年初から18％円安が進行しており、産地価格が多少下がってもコスト上昇が止まらない。ウッドショックでは米松丸太の供給の安定性を背景に、供給不足の欧州材の代替需要を取り込み、シェアを拡大した。だが、欧州材の反転攻勢で守勢に立たされようとしている。

大手製材工場向け米松丸太の7月積み。米国の産地シッパーは円安で増大したコスト負担に耐えきれない製材工場に配慮し、丸太価格を前月比30ドル（100BM、スクリブナースケール）下げた。産地シッパーの買材の仕入れコストは年明け300ドル幅で上昇したまま高止まりしている。本来なら日本向けも上昇したコスト分の値上げが必要だったが、転嫁できたのは2、3月積みの合計200ドルまで。残る100ドルの値上げを完遂できないまま、5月積みで20～30ドル、7月積みでさらに30ドル下げた。

要因は為替だ。仮に1ドル115円の年初の水準で推移していたら、シッパーが300ドル上乗せしても、輸入コストは実際の7月積みより2割安かった。産地シッパーはコストを満額転嫁でき、製材工場も現状よりコストを低く抑えられた。ユーロも1ユーロ139円と年初から7％円安が進んだが、ドルに比べると下落幅は少なく、コスト面でも有利だ。

とはいえ、主力の米松KD平角の販価は10万3000円（店着、立方㍍）。13万～14万円（プレカット工場着、同）の構造用集成材とは2万7000円以上の価格差があり、1万～2万円の値上げをしても競争力は揺らがないように見える。

だが、欧州産構造用集成材の第3・四半期価格は10万円台後半～11万円台前半（港オントラ、同）まで下がり、米松KD平角との価格差は1万円以内にまで接近する。

一方のラミナは6万円台後半（同）、集成材メーカーの製造コストは10万円前後（立方㍍）まで下がると考えられ、米松KD平角と同等水準での販売も不可能ではなくなる。

もっとも、第3・四半期材の入荷が本格化するのは10月以降で、集成材メーカーの高コストラミナが入れ替わるのはさらに先になる。当面はコスト高の第2・四半期材の消費が中心となり、輸入製品、国内メーカー品とも販価を下げられる状況ではない。欧州材が高止まりしている間に、米松丸太の輸入コストが下がれば、局面は変わる可能性もあるが、今のところ下がる要素が見当たらない。

集成材・・・どうする??
集成材専門輸入商社
設楽ランバー株式会社
針葉樹
○メルクシパイン ○アガチス ○ラジアタパイン
○アカ松 ○ツガ ○雲杉 ○スプルース
○米松 ○ヒバ ○国産材杉・桧
広葉樹
○ゴム(ラバーウッド) ○ペルプック ○桐
○赤タモ ○本タモ ○ナラ ○ウォールナット
平割もあります
STR 前橋市駒形町844-12
TEL 027-266-2482 FAX 027-266-3482
https://www.strlumber.com/